

事業計画書(その1)

①団体の目的 *定款、規約、会則等に定めている目的を、そのまま転記してください。

この法人は、心理的問題や発達のみならずのあるご本人とご家族からの相談に応じ、支援及び訓練の場を提供することで、彼らのクオリティ・オブ・ライフ（Quality of Life。人生の内容や社会的にみた生活の質。以下 QOL と略す。）の向上を目指す。また、地域社会への普及・啓発活動を通じて、人々の心の病や発達障がいに対する理解を深め、誰もが生きやすい社会の実現に寄与することを目的とする。

②事業の分野

☒保健、医療又は福祉の増進 ☒社会教育の推進 ☐まちづくりの推進
☐観光の振興 ☐農山漁村又は中山間地域の振興 ☐学術、文化、芸術又はスポーツの振興
☐環境の保全 ☐災害救援 ☐地域安全 ☒人権の擁護又は平和の推進 ☐国際協力
☒男女共同参画社会の形成の促進 ☒子どもの健全育成 ☐情報化社会の発展
☐科学技術及び学術の推進 ☐経済活動の活性化 ☒職業能力の開発及び雇用機会の創出
☐消費者保護 ☐団体の運営又は活動に関する連絡、助言又は援助

③事業の概要 *事業の全体像を簡潔に記入してください。

倉敷市市内在住で、学習塾に通う経済力のない世帯や、家で落ち着いて学習する環境がない中高生を対象にボランティアスタッフによる学習支援を提供する。また、そのような環境にある少年に落ち着いて過ごせる居場所を提供する。

④社会的背景と解決しなければならない課題

*提案するに至った社会的背景や市民ニーズ等は何ですか。また解決しなければならない課題は何ですか。
 近年、貧困の連鎖が注目されている。貧困を連鎖させる要因の一つに、貧困家庭の児童生徒の学力や学ぶ意欲が低いことが指摘されている。また、これらは児童生徒の内面の問題ではなく、学習塾を利用できないこと、高等教育を受けた者が身近にいないため学習への動機づけが乏しいこと、家の間取りや家族構成の問題で落ち着いて学習できないことなど、様々な環境要因によって引き起こされている。これらの問題は教育機会の平等を損なっているだけでなく、高校中退の増加や中卒ゆえの不利な条件での就労と離職などの問題ともかかわっている。このように貧困が連鎖する状況は解決しなければならない。

⑤受益者の範囲 *提案する事業の対象範囲を具体的に記入してください。

勉強が苦手だが塾に行けない倉敷市市内在住の中高生や学校や家庭で落ち着いて過ごせない倉敷市市内在住の中高生

⑥事業の成果 *④の課題に対して、事業を実施することで得られる成果とは何ですか。

利用者の学力向上や高校進学、中退の予防が期待される。

⑦事業の目標

*⑥の成果を測る目安です。想定する結果より少し高いレベルで設定してください。また、目標の進捗状況を市の指定するブログに定期的に投稿していただきます。できるだけ数値やパーセントを用いてください。
 対象となる世帯の児童生徒は、高校進学率が低いだけでなく(生活保護世帯の高校進学率は 86.5%、そうでない世帯は 98.2%)高校入学後の中退率も高い(生活保護世帯の中退率 5.3%、全体では 1.6%)。よって、高校進学率や中退率は到達度の指標となるが、これらを用いるには事業を大規模

に行う必要があり難しい。そこで、各利用者の高校進学と中退の防止の事例報告とアンケートで得られた保護者・利用者満足度を指標とする。また、利用者数も目標の1つとする。

事業計画書 (その 2)

⑧事業の詳細

*実施時期、場所、対象者、内容、特徴や重点事項など、できるだけ内容を明確にしてください。

方法

対象者：倉敷市内在住の中高生のうち、経済的な事情等で塾にいけない、家庭や学校が落ち着かないと感じている者

実施場所：当法人事業所

実施日時：毎週土曜日 18時から19時30分

実施すること：学校の宿題の補助や通信制高校の場合はレポート作成の補助を行う。また、季節のイベントや食事会等を実施する。

スタッフ：当法人の社員1名、アルバイト（心理士）1名、大学生のボランティア

利用手順：倉敷市生活福祉課や倉敷市生活自立相談支援センターにパンフレット等を配布し、希望者と面談の後、利用を開始する。

さいころは、行かなければならない場所ではなく、子どもたちが来て楽しい場所、落ち着ける場所であることを重視する。そのため、大学生のボランティアと子どものナナメの関係を重視する。これは、大学生のボランティアは困ったことは相談されるが、ボランティアが子どもを指導教育する縦の関係ではない。しかし、友だちのような横の関係でもない。思春期にはこのようなナナメの関係が築ける居場所があることが重要視されている。また、モデルとなる大学生のボランティアと接することで、学習することの意義を見出しやすくなるものと考えられる。

なお、利用者の経済的事情を鑑み、利用料は頂かないものとする。

また、1日の利用者は最大で10名程度と考えている。これは落ち着いて過ごせる環境の維持、学習の補助という観点からである。しかし、基本的にはオープンスペースとし、来訪した方の利用をお断りすることは考えていない。事業所内の別室の活用や、利用者数が平均して10名を超える状況になれば、実施場所を倉敷健康福祉プラザなどに変更することも考えている。

⑨受益者負担 ※団体の財源確保のため、可能な限り参加費等を徴収してください。

*参加費や受講料を一般の参加者から徴収しますか。該当するものを丸で囲んでください。

徴収する ・ 徴収しない

*「徴収しない」とした場合、その理由を記入してください。

参加費を徴収した場合、経済的に不利な世帯の利用が難しくなり、本事業の趣旨に反するため。

事業計画書 (その 3)

⑩事業の見通し * 2 年後, 3 年後といった将来, 事業をどのように展開させていきますか。

本事業の広報に努め、地域からの寄付金で運営を行いたい。また、本事業を利用した児童生徒から、本事業にボランティアとして協力してもらえる方がでてくることを期待している。

⑪団体の能力の活用

* 団体の持つ能力や特色を, 課題の解決にどう活かしていきますか。

当団体は障がい児通所支援事業所を運営しており、困難を抱えた家庭への支援のノウハウがある。また、大学生のボランティアと協力して障がい児・者および保護者対象のバスツアーなどをこれまでにを行っている。そのため、児童・生徒のモデルとなるような大学生ボランティアが活用できる。

⑫他団体等との協力

* 他団体等と協力して事業を行う場合は, その団体名や役割を記入してください。

対象となる児童生徒の情報が多く集まると考えられる倉敷市生活自立相談支援センター、サポートステーション倉敷サテライト、児童相談所などにパンフレットの設置を依頼する予定である。

⑬行政との協働 ※自主事業部門の団体は記入不要

主となる部署名 () 主部署の同意 (あり ・ なし)
その他の部署名 (,)

協働する部署との協議

月 日 (内容 :)
月 日 (内容 :)
月 日 (内容 :)

協働する部署の役割

予算書

(収入の部)

(単位：円)

項 目	金 額	内 容
受益者負担 (参加費, 受講料など)	0	
会費からの繰入金	5,000	
そ の 他	10,000	寄付金
市補助金	97,000	
合 計	112,000	

(支出の部)

(単位：円)

区 分	項 目	金 額	内 容
経費① (対象経費)	人件費(団体会員に支払うもの, 交通費を含む)	0	
	人件費(団体外部に支払うアルバイト代等)	95,000	アルバイト人件費：1000 円×75 時間 ボランティア交通費：1 回 200 円×2 名×50 回
	謝 金 (講師等に支払うもの)	0	
	旅費交通費 (講師等に支払うもの)	0	
	消耗品費	10,000	参考書・書籍等
	印刷製本費	5,000	教材印刷・パンフレット等
	通信運搬費	2,000	切手等
	保険料	0	
	使用料, 賃借料	0	
	委託料	0	
	小計 ①	112,000	
経費② (対象外経費)	報償費・人件費	0	
	食糧費	0	
	その他	0	
	小計 ②	0	
合 計		112,000	

(記入上の注意)

- ※ 団体会員に人件費及び交通費を支払う場合は、申込み前に事務局に相談してください。
- ※ 実施可能な経費、内容に見合う経費で計画してください。過大な経費は避けてください。
- ※ 内容欄には、単価・数量等の内訳を記入してください。(別紙添付も可)
- ※ 事業実施のために直接必要な経費だけ計上してください。団体の運営経費は対象外です。
- ※ 金額欄は切り上げて千円単位で記入してください。